

2017年

2月号

福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22
TEL093-662-6000・FAX093-662-6006
E-mail gakuforen@fukuoka-gkd.jp
発行・福岡県学童保育連絡協議会



福岡県学童保育連絡協議会（以下、福岡県連協）に加盟して下さっておられるクラブ・個人・賛助会員の皆様、働きながらの子育てを頑張っておられる保護者の皆様、そして支援員の皆様、皆様が共に協力し合い、日頃よりご尽力してくださっていることに感謝し、合わせて県連協へのご理解ご協力ありがとうございます。今年も皆様と共に学童保育施策の拡充に向けて活動していく所存です。

2017年1月の活動を報告します。

1/15am 第35回福岡県学童保育研究集会

第5回実行委員会

第5回実行委員会は最終確認となります。

当日の流れ、受け付け確認、会場準備と整備担当、机出し担当、分科会担当確認と分科会内容の確認等、最後まで丁寧に確認し合いました。

当日については、「研究集会報告」で行います。

1/15pm 第4回役員会

新しい年が始まり、県連の活動も半年が過ぎました。

改めて、学童保育は新制度としてスタートしたものの、現状としてはまだまだ課題が山積しています。そのことを出し合い、これまでの県連活動の振り返りと課題を出し合い、そこから県連のこれからどういう方向性で！どういう内容の活動や行動を行うか！と、役員で議論し合いました。

県連として「支援員への様々な研修会は継続したい…」「保護者会活動を活性化させるには…」「加盟に向けたアプローチは…」「運営委員会を活性化させるには…」「県へは…」「実施主体である市町村に学童保育理解を得るには…」「これはするべき！こちらもしなきゃならないのでは…したい…」と議論は尽きず…

少ない役員数で、どこまでできるのか！？ 大変なのは解った上で、これからも学童保育拡充に向けて活動をするために役員一同一丸となって頑張ろうと確認しあいました。



12/5 大木町出前講座 ④講座

1/19 大木町出前講座 ①講座

<④講座報告>

前回の「生活づくりの実際」に続いて、2回目の内容は「子ども理解を支援の実際」でした。冒頭、前回いただいたご質問にお答えした後、講座に入りました。

内容は、いわゆる「問題行動」「困った行動」「気になる行動」の背後にある意味、また、その行動から子どもを見つめ、気持ちを読み取っていく視点についてお話させていただいた後、受講者の方の学童に実際に在籍する気になる子どもについてのカンファレンスを行いました。

その子の心を探っていくと「友達と遊びたい。」「本当はほめられたい。」「友達や先生に認めてほしい。」「抱きしめてほしい。」etc…そんな気持ちが見えてきて、そこから具体的な支援について、「まずは1回やってみよう！」と何をしたらいいのか考えていきました。

受講者の方からは、以下のような感想がありました。

『講座の中で子ども理解と支援について改めていろいろと考えさせられることが多かったです。普段の学童の中では子どもの行動（問題行動）に対して主観的に考え指導してしまったり、注意をしてしまったり、物事を狭い範囲で見えてしまっていることに気づき、自分自身が気を付けていかなければならないと思いました。子どもがなぜそんな子になってしまうのか、どうしてそんなことを言うのかをしっかりと考えていくことが重要だと感じました。』

『研修会を受講する毎に「支援員の仕事って難しいな～」「大変な責任を負っているな～」と痛感します。紹介された絵本「おこだでませのように」を聞いて涙が出るほど子どもの気持ちが分かり感動しました。自分も学童で、はたして子どもたちの気持ちをどこまで分かっているのだろうか？分かってやろうと思っているのか？ある子どもに対して決めつけた気持ちで接していないだろうか？み～んな同じ気持ちで対応してやれているだろうか？等振り返りました。子どもの行動には必ず理由がある。本当にそうなんだ！と実感しました。事例によるグループ討議もとても勉強になりました。その子の行動を具体的にあげ⇒なんで？と考え⇒気持ちを考えて⇒こうしてみる。「あせらず」「あわてず」「ゆっくりと」を肝に銘じて、子どもたちの笑顔の為に少しでも力になれるように日々努力していきたいと思います。子どもたちの笑顔が私の仕事の源になっているのですから！』

支援員同士で打ち合わせ（ミーティング）をする時間はなかなかとれないかもしれません。大規模化された学童ではひとりひとりを見つめたり支援したりする余裕がないかもしれません。その点ではまだまだ学童保育の様々な環境は不十分で、支援員も頭を抱えるところではあるでしょう。しかしながら、「子ども理解」は、全ての支援の出発点です。どのような支援も必ずそこから出発していかないとはいけません。子どもの姿から、“ただひとりのその子”の思いや願いを丁寧に読み拓きながら支援につなぎ、子どもの笑顔あふれる毎日を共に切り拓いていく、愛情と専門性に溢れ、支援員自身も笑顔で過ごせる学童保育所が増えるよう切に願います。

研修で紹介した以下の絵本はオススメです。是非みなさんも読んでみてくださいね。【「おこだでませのように」作：くすのきしげのり 絵：石井聖岳 小学館】

(よりどりちどり館 鍋倉 功)

<① 講座報告> 放課後児童支援員の役割と仕事とは」

児童数が増え、増設等の施設整備が行われている地域での学習でした。

基本となる講座を最後にもってきて、運営指針に沿って、支援員として求められる資質や子ども観、大切にしたいことなど、学び合いました。

来年度から高学年の受け入れが始まるそうで、思春期の子どもたちとの関わり方も支援員同士でカンファレンスしながらスキルアップしていただきたいとお伝えしました。

3 学童の優しい表情の所長さんのもと、15 名ほどの支援員さんが日々、楽しそうに子どもたちと関わっているであろう温かい学童の光景が目につかびました。 (佐伯純子)

1/22 福岡県連協主催

第 35 回福岡県学童保育研究集会開催しました！

今回、実行委員会役員が提案事項を事前によく議論し確認して実行委員会に臨み提案したことで、実行委員からも提案や意見も出され活発な実行委員会になりました。メインテーマを決めるにあたり、多くの意見が出たことで決定までには時間を変えじっくり議論し合い「保護者とともに育む学童保育～語り合おう子どもの思い！親の思い！支援員の思い！」に決定し、当日に向けて5回の実行委員会を密に議論し合い中身の検討を行うことが出来ました。

記念講演：河野伸枝さん（埼玉県飯能市放課時指導支援員）「ひとりじゃないよ！支え合って語り合ってつながろう」では、河野先生の子どもたちへの思い、保護者への思い、そして支援員としてのあるべき姿勢を「かたくり」通信より丁寧にゆっくりとした口調でしっかりと伝えてくださいました。感想には、①共感できることばかり ②元気をもらいました ③保護者にこそ声かけが必要なんだ！と思った。など好評でした。

午後からの分科会は9分科会と特設“あそびの広場”でした。去年4月に起こった熊本大分地震に伴い「熊本震災地震と学童保育」の分科会、ワークショップを取り入れた分科会・あそびの実践 講座、「絵本の世界と読み聞かせ」の分科会は、数年できていなかったので参加者も多く好評でした。

特設“あそびの広場”は、一日託児で来る子どもたちと、託児当番を担ってくれた支援員さん方（数回集まり、遊びの学びを行い、当日の遊びの流れや関わりを検討する）が、共に一日を楽しく過ごします。が、そこには支援員等の学びと子どもたちの一日のあそび空間をワクワクドキドキする空間へと広げ、遊びきることを行いました。午後からは各分科会に参入して参加者と触れ合うミッションを企画したりと楽しく過ごすことが出来たようです。

参加者450名で昨年上以上の参加者になりました。まだまだ保護者の参加が少ないという課題が残っていますが、次回に向け準備を進めていきます。

熊本震災募金は45,651円でした。皆様のご支援ありがとうございました。全国連を通して、熊本支援へ活用して頂きます。

実行委員長 松本秀樹



1/29 支援員部会

「新年度県連研修会の内容企画検討会」

この日は部会員4名でしたが、今までの研修や学習会の反省と参加者の感想やアンケートの回答を検討し合い、次年度の出前講座研修の検討を行いました。同じ自治体が毎年利用してくれている支援員の質と、今後新たに利用しようとする自治体の支援員とは学びの質が違うこと、基本講座として必ず学び守ってもらいたい内容と、実践を踏まえて学んでいただきたい講座に分けたり、その先のステップアップした講座を設けるなどを行いました。

5月予定の新人研修についても、反省と、参加する新人支援員が何を学びたいのか？などを検討議論し合い、講座内容を決めて行きました。

朝の10時から始めた部会は気が付けば夕方6時になり、部会員の真剣な議論と、講師としての意気込みを感じたとても良い部会となりました。

2016~2017 学童保育情報誌 発行
¥800-

全国連が毎年発行しています学童保育情報誌、2016~2017年版が発行されました。毎年春に行う調査を元に・・・及び国の流れや学童保育に対する通達等、学童保育に関する最新の情報をお届けします。行政との要望や交渉、懇談時に活用したり、運営の改善等に活用できます。

購入したい方は、県連協事務局までお願いします。

第51回 全国学童保育研究集会inあいち

一元気だぞ！学童保育 これからも共に手をつないで



2016年10月29～30日に開催された全国研in あいち。全国各地から4707名が参加し、大いに学び、語り合いました。今月号では、交流を深め、はげましあった2日間の模様として、全体会のダイジェスト・参加者感想・分科会報告などを交えて記載してあります。

愛知の学童保育の子どもたちによる歓迎行事も素敵な子どもたちの笑顔♥ 田丸先生の記念講演は読むことで改めて学びとなります♥

学び・笑顔・力・
やる気 まんさい

☆子どもたちの作文やイラストを全国連に送り、子どもたちの作文やイラストを載せてもらいましょう！！ 開くのが楽しくなります

詳しくは福岡県連協へ・・・

ほいく誌は、自ら購読して読むことが大事です！ 「学童に一冊ありますから」という声がありますが、そのほいく誌読んでおられますか？ 気になったところに線を引くことができますか？ 是非自ら購読してこそ自分のものになります。是非！！

購読申込待っています こちらも申し込みは福岡県連協へ・・・

<各種研修会案内>

県連協は、来年度も学童保育に関わる全ての支援員及び保護者が学ぶ場として様々な研修会を企画しております。皆さんと共に学び合えることを楽しみにしています。

- ① 出前講座研修（6講座+保護者会向け1講座）…継続
2011年度から始め2017年度は7年目に入ります。今年度は「基礎講座／実践講座／ステップアップ講座」と受講生の段階に合わせて構成しました。
- ② 第42回全国学童保育指導員学校…2017年6月18日開催
- ③ 新人支援員研修…継続 2017年5月21日開催
案内は4月初めを予定しています。
- ④ 主任支援員研修…継続 2017年10月15日開催

⑤ 第52回全国学童保育研究集会in兵庫…2017年11月4～5日開催

⑥ 保護者学習・交流
『保護者会 学習会／交流会』を実施

※申し込み案内は、改めてご案内致します。

第52回全国学童保育研究集会in兵庫

ほいく誌2月号(P43)にも記載してあります。

みんなが主役に！「兵庫で待っと～で！！」

すでに準備は始まっていて、日本中の学童保育関係者の参加を待つべく、日々汗を流し準備してくださっています。

福岡県からも参加目標100名目指して、呼びかけようと、このコーナーを作ることにしました。

この思いが届き目標達成し、兵庫で皆さんと会えるよう紹介していきます。お楽しみに……………

福岡県参加目標100名！！
さあ日程を組んで！福岡県の元気と本気を伝えに行こう

<県連協活動予定>

- ★ 2月4～5日(土～日) 全国連協運営委員会
- ★ 7日(火) 事務局会議
- ★ 3月4～5日(土～日) 第5回合宿役員会
- ★ 第2回運営委員会・全国学童保育指導員学校実行委員会・県研究集会実行委員会(反省会)の開催は日程が決まり次第連絡いたします。

HPをご覧ください、ぜひ加盟したいと思われたクラブ・個人・そして運営者の皆様へ

ご覧の通り、県連協は全国連とつながり、様々な情報を得ながら、学童保育を利用する全ての子どもたちへの育成支援、働きながら子育てする保護者への就労支援が出来るよう、情報提供や、県市町村への要望や懇談、相談業務、諸々の学習会を行い、皆様と共に頑張ろうと思っています。ぜひ共に！！

加盟して下さる場合は県連協事務局へご連絡をくださいませ

県連協事務局 ☎番号 093-662-6000 木下まで